

■令和5年度 議会活性化特別委員会活動報告

1. 本特別委員会設置の経緯

地方分権の進展により自治体の自己決定と自己責任の範囲が拡大している中、議会が住民の代表機関として、地域の発展と福祉の向上のために果たすべき役割は、以前にも増して大きくなってきている。特に、住民からの行政ニーズは、多様化、高度化してきており、それらを的確に把握・集約し、議会での議論を経て市政に反映していくことが重要となってきた。

本市議会では、これまで、議会活動報告会やシティミーティングの実施、政策提言議員協議会の設置をはじめとする議会改革への取り組みを積極的に続けてきている。平成25年3月には、議会における最高規範として延岡市議会基本条例を制定し、その後、議会活動をより積極的に推進するために、若年層との意見交換会の開催や、政策提言議員協議会で市当局へ提言した内容の精査などの取り組みを実施してきた。また、平成27年9月に設置された「議会のあり方検討特別委員会」においては、議員定数や議員報酬についての検討が行われ、これからの人口減少社会を見据えた上で、議員定数については削減すべきとの結論に至ったことから、平成31年4月に行われた一般選挙より、議員定数を29人から27人に削減したところである。

このような中、本年度の改選による新たな議会構成のもと、議会のICT化の推進や本会議・委員会の配信の検討等、今後の議会活動をこれまで以上に推進するため、「議会活性化特別委員会」が設置されたところである。

2. 今年度の活動経過

| 開催回 | 開催年月日 | 活 動 内 容 等 | 備 考 |
|-----|---------------------------|---|-----|
| 第1回 | 令和5年 7月 5日 | * 調査項目に関する協議 * 先進地視察に関する協議 | |
| 第2回 | 令和5年 8月 25日 | * 本会議のライブ配信に関する協議 * 先進地視察に関する協議 | |
| 第3回 | 令和5年 9月 13日 | * 議会 ICT 化の推進に関する協議 * 本会議のライブ配信に関する協議 * 一部委員会の配信に関する協議 | |
| 第4回 | 令和5年 11月 24日 | * 議会 ICT 化の推進に関する協議 * 本会議のライブ配信に関する協議 * 一部委員会の配信に関する協議 * 先進地視察に関する協議 | |
| 第5回 | 令和5年 12月 13日 | * 陳情第3号「議会改革についての陳情」の審査 * 議会 ICT 化の推進に関する協議 * 一部委員会の配信に関する協議 | |
| — | 令和6年 1月 16日 ～17日 | * 先進地調査（滋賀県大津市、大阪府泉大津市） | |
| 第6回 | 令和6年 2月 1日 | * 議会 ICT 化の推進に関する協議 * 本会議のライブ配信に関する協議 * 一部委員会の配信に関する協議 | |
| 第7回 | 令和6年 2月 22日 | * 議会 ICT 化の推進に関する協議 * 一部委員会の配信に関する協議 | |
| 第8回 | 令和6年 3月 19日 | * 委員会活動報告についての協議 | |
| — | 令和6年 3月 22日 (3月定例会最終日) | ◎委員会活動報告 | |

3. 議会 ICT 化の推進（タブレット端末の導入）

議会 ICT 化の推進として、過年度より、本特別委員会で継続して調査を行ってきたタブレット端末の導入については、令和5年度の当初予算に導入費用を計上。端末の購入、文書管理アプリの導入等の手続きを経て、令和6年3月定例会より試行的な活用を開始。3月定例会は、紙資料との併用期間としており、試行を踏まえ、今後の取り扱いを決定する予定としている。

なお、今後の本格的な活用に向けて、今年度、本特別委員会において、先進地視察を実施した。詳細は以下のとおりである。

（先進地視察）

大津市議会（滋賀県）

《調査事項》議会 ICT 化について（タブレット端末の活用）

（1）タブレット端末の導入経緯

平成24年9月に、議場放送設備が故障。元々、古い設備であり、修理用の部品もなかったことから、議会活性化検討委員会において、タブレット端末の導入を視野に入れた「議会のICT化」の促進を決定

（2）タブレット端末の機能等

（i）機種の内訳等

| | | |
|-------|----------|-----|
| 議員 | セルラーモデル | 38台 |
| 議会管理職 | セルラーモデル | 3台 |
| 委員会用 | Wi-Fiモデル | 10台 |
| 説明員用 | Wi-Fiモデル | 27台 |

（ii）アプリケーションソフト等

| アプリケーション等 | 機能 | 活用方法等 |
|-------------------------|---------------------------------------|---|
| グループウェア （サイボウズ） | ■メッセージ機能 | ・執行部からの急な報告の発信 ・議員への資料・通告書等の送信 |
| | ■スケジュール機能 | ・各種日程の確認 |
| | ■ファイル管理機能 | ・会議資料、写真、動画、音声、会議録等を格納 |
| 会議同期システム （スマートセッション） | ■ページ同期 ※操作者の端末に合わせて、タブレットの画面が一斉に動作 | ・議場での一般質問の補足資料として活用 ・タブレットに表示された資料に、書き込み等が可能 |

※本会議や委員会での活用のほか、市議会の防災訓練でもタブレット端末を活用している。

(3) タブレット端末の導入効果

タブレット端末の導入により、紙代・印刷代・人件費等の経費が大幅に削減された。それ以上に、「議会・議員で情報の共有化」、「情報伝達の即時化」、「会議運営の効率化」に大きな効果があり、結果として、議員の資質向上、市民福祉の向上、市政の発展につながっている。

(4) タブレット端末の導入後の課題

スマートフォンやタブレットの普及によって、同じ機種を全議員が持つことの必要性が低下するとともに、タブレットの所有権の問題が発生している。導入から10年が経過したことで、改めてその在り方を検討する時期に差し掛かっており、今後は、議員のライフスタイルに応じた機種の選定を可能とし、タブレットを持たない選択も含めて所属の会派ごとに決定することとしている。

泉大津市議会（大阪府）

《調査事項》議会 ICT 化について（タブレット端末の活用）

(1) タブレット端末の導入経緯

平成29年4月に、議会運営委員会で議会のペーパーレス化の協議を行い、その後、ペーパーレス化専門部会を設置。設置後、タブレット端末の導入を検討し、平成30年5月の臨時会から運用を開始

(2) タブレット端末の機能等

(i) 機種の内訳等

| | |
|-------|--------------|
| 購入台数 | 40台 |
| OS | iOS（12.9インチ） |
| 機種モデル | LTEモデル |

(ii) アプリケーションソフト

| アプリケーション | 主な機能 | 活用方法等 |
|------------------------|---------|--|
| SideBooks (サイドブックス) | ■文書管理機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・本会議や委員会で活用 ・紙をめくるように閲覧できる、必要なページにメモができる、必要な範囲に閲覧の権限を付与できる等の機能を活用 |

(3) タブレット端末の導入効果

ペーパーレス化による経費の削減や労務費の削減につながった。また副次的な効果として、議案書等の差し替えが容易になった。

(4) タブレット端末の導入後の課題

以前、大手通信キャリアの通信障害が発生した際に会議を開いていたため、会議中にタブレット端末が使用できない事例が生じた。

また、今後の課題として、現契約満了後、タブレット端末を新たに購入するのか、LTE 通信契約のみ継続するのか検討が必要となる。

【参考】本市のタブレット端末の機能等

(i) 機種の内訳等

| | |
|-------|------------------|
| 購入台数 | 37 台（議員+議会事務局職員） |
| OS | iPadOS（10.2 インチ） |
| 機種モデル | Wi-Fi モデル |

(ii) アプリケーションソフト（泉大津市議会と同様）

| アプリケーション | 主な機能 | 活用方法等 |
|------------------------|----------|--|
| SideBooks (サイドブックス) | ■ 文書管理機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 本会議や委員会で活用 ・ 紙をめくるように閲覧できる、必要なページにメモができる等 |

※上記の機種、アプリケーションソフトの選定等については、前年度の本特別委員会の協議の中で決定

【今後の方針】

先進地視察の調査結果や本特別委員会における協議を踏まえ、本市議会としては、まずは、本会議や委員会等での運用を安定させていくとともに、タブレット端末を活用した防災訓練の実施や本市議会の BCP の見直しの検討について、今後、調査を行っていくことで委員の意見が一致した。

4. 本会議のライブ配信

前年度の本特別委員会の活動において、本会議については、令和5年度からYouTubeでのライブ配信を行っていく方針としていたところである。今年度の9月定例会にてライブ配信を試行し、技術的な問題が発生していないことを確認した上で、12月定例会から本格的に実施。実施後、市民の方から好意的な意見もいただいております、効果の大きい取り組みであったと判断するが、今後、本件について調査の必要性が生じた場合、本特別委員会において調査を継続することで、委員の意見が一致した。

5. 一部委員会の配信

前年度の本特別委員会の活動において、一部の委員会については、令和5年度から配信を試行していくことで委員の意見が一致したところであり、今年度は、配信に向けた協議を進めていた。そのような中、9月定例会の予算審査特別委員会及び決算審査特別委員会において試行を行ったが、予算審査特別委員会での試行中に配信が途切れる問題が発生した。また、本調査項目についても、先進地視察を実施したところであるが、視察により、いくつかの課題が判明した。

以上の結果を踏まえ、引き続き、配信を実施する上での検討を継続する必要性が生じたところである。なお、先進地視察の調査結果や委員会でのこれまでの協議内容等の一連の経緯については、以下のとおりである。

①（委員会設置～先進地視察実施前の活動）

当該期間については、委員会の配信を試行するとともに、試行時の録画映像を確認するなどの作業を含めながら、配信に向けた協議を行ったところである。

【当該期間における委員会での主な意見】

| 委員からの意見 |
|---|
| 配信の実施にあたっては、本会議と同様に録画配信から始めてはどうか。 |
| インターネット上で公開されるという点を踏まえると、本格的に配信を実施するにあたっては、事前に議員及び当局職員の意見を十分に確認した上で、実施した方がよいのではないかと。 |
| 本会議と異なり、委員会では日頃、議場で答弁することのない各課室長も答弁を行うこととなる。そのため、配信を実施するとなると、各課室長が委縮する可能性があることから、配信の実施の際には、議員を正面から撮影した映像（市当局職員の後ろ姿のみが映る形）を配信してはどうか。 |

配信を求める陳情が以前から出されているとともに、既に配信を実施している議会もある。早く進めていくべきである。

配信の実施は良いことだと思うが、配信時期、配信時の映像を含めた配信方法について、時間をかけて慎重に検討すべきである。

②（先進地視察）

大津市議会（滋賀県）

《調査事項》委員会の配信について

（１）実施の経緯

委員会のインターネット配信については、「自由闊達な議論を妨げる」等の理由により、これまで取り組みが進んでいなかったが、平成30年8月に、委員会のインターネット中継の導入に向けた検討を決定。その後、新型コロナウイルスの影響により、取り組みの推進が困難となったが、令和4年3月に中継の手法を決定し、各種の準備作業を経て、令和5年9月に、8つの通常会議（原則公開の会議）において、試験的な配信を開始した。

（２）中継の手法等

当初は委託による中継を予定していたが、コロナ禍においては費用対効果が不十分であったことから、予定より廉価で実現可能なYouTubeで中継することを決定。中継映像は、議員を正面から撮影した映像（市当局職員の後ろ姿のみが映る形）としている。

（３）実施後の課題

令和5年9月の試行の際に、映像が映らない、中継が混線する等のトラブルが発生し、安定的な運用が困難であることから、本格運用には至っていない。

泉大津市議会（大阪府）

《調査事項》委員会の配信について

（１）実施の経緯

平成28年1月に議会改革検討協議会の検討項目として決定し、平成29年9月に、インターネット中継を開始

（２）中継の手法等

中継映像は、議員を正面から撮影した映像（市当局職員の後ろ姿のみが映る形）とし、当初はYouTubeを利用して中継を実施した。

(3) 実施後の課題

YouTube での配信を断念せざるを得ない事案が発生したため、予算措置を行った上で、専用の映像配信システムによる中継に移行した。

③ (先進地視察実施後の活動)

先進地視察の振り返りを行った上で、視察の実施により明らかとなった課題の洗い出しや、今後の対応に関する協議を行った。

【当該期間における委員会での主な意見】

| 委員からの意見 |
|--|
| YouTube での配信にあたり、視察先や本市議会の試行時においても、回線の不具合等の事例が発生している。もうしばらく動作確認等を行った後に、万全な状態が整った段階で配信してはどうか。 |
| YouTube による配信ができなくなった場合も想定して、配信を行うためのシステムの導入についても検討が必要ではないか。 |
| 本会議の視聴回数の分析結果や費用対効果等を踏まえて、十分な検討をしてはどうか。また、委員会での発言の一部だけが切り取られ、SNSなどで悪用されることも懸念される。 |
| 一部委員会の配信については反対していないが、配信に向けての課題があると認識しているので、それを一つ一つ整理して、進めていくべきであると考えている。 |
| 配信を進めていくべきである。一部の市民の方からも以前から要望が上がっている。 |

【今後の方針】

以上のような経緯を踏まえ、まずは、配信に係る技術上の問題等、配信に係る課題を整理した上で、改めて、具体的な配信時期や配信方法等に関する協議を行うことで委員の意見が一致した。

6. 今年度の取り組みの総括及び来年度の取り組み

今年度については、タブレット端末の導入や本会議のライブ配信など以前から課題とされていた取り組みを実施することができ、本市議会の議会改革が一段と進められたところである。

しかしながら、あくまでも本市議会における取り組みの第一歩であることから、今年度に先進地視察を行った視察先を含めた他自治体の先進事例を参考にしていく必要がある。特に、タブレット端末については、導入して間もないため、まずは、本会議や委員会における運用を安定させていくことが第一であるが、紙資料との併用等についても検討が必要であると考え。また、一部委員会の配信については、配信に向けた協議を進めていたが、年間の活動を通じて、いくつかの課題が判明したため、課題の整理を行い、今後に向けた協議を進めていく方針となったところである。

なお、次年度の取り組みについてだが、タブレット端末の活用を想定した本市議会BCP（業務継続計画）の見直しの検討等、引き続きタブレット端末の活用に関する調査を行っていくとともに、一部委員会の配信については、次年度中に、具体的な配信時期や配信方法等の方針を委員会として決定する予定である。